

平成 15 年（2003 年）12 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書（１日目）

平成 15 年 12 月 10 日（水）

1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	島 田 正 博 (市民・社社 ネット)	1 基地行政について	(1) 那覇軍港の返還に伴う、跡地の復元補償、環境問題について伺う (2) 地位協定第 4 条、「沖縄における公用地等の暫定使用に関する法律」の第 4 条の原状回復の義務、さらには沖縄県が求めている地位協定見直し案の第 4 条関係分について、どのように理解しているのか、市長の見解を伺う
		2 福祉行政について	(1) 小規模作業所の法人化問題について伺う。数値目標を持っているのか。今まで県内で何カ所の法人化が進んだのか。また、那覇市内の状況はどうか (2) 多機能病院建設に関わる精神科病棟の設置について、市長の見解を問う
		3 環境行政について	(1) 門口収集が進み、ごみの分別は進んだと思われるが、なお、不法投棄はいたるところである。現状と対策はどうなっているか (2) 新都心地区の管理責任の所在はどこか。新都心公園からモノレールおもろまち駅へと続く道路沿いは、放置車両とごみの山である。環境部の足元だと考えるが、対策はないか
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	唐 真 弘 安 (市民の会)	1 教育行政について	六諭衍義の精神又は心を学校教育、社会教育に積極的に取り入れることについて
		2 一般行政について	豊見城城址公園が、ご案内の様に、去る 11 月末日をもって閉鎖されたが、閉園の理由が事業不振と新聞は報じている しかしながら、同公園の利用者は日常的に那覇市民が多数を占めると本員は評価をし、市民福祉向上の見地から、市長の立場から何らかのかたちで、公園所有者であられる岩崎グループ(創業 1923 年・資本金 39 億円・従業員 5000 人・2003 年 3 月期売上高 700 億円)の代表者へ公園再開園への働きかけを要望する ちなみに申し上げますと、豊見城市長共々に日程調整の上、行動を共にすることも提言する
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	与 儀 清 春 (清政クラブ)	1 開南大通整備と農連再開発について 2 牧志壺屋線について 3 市街地活性化について	農連市場地区市街地再開発事業に期待もあるが、それ以上に中心市街地で交通混雑も激しい幹線でありながら唯一歩道もなく、危ない状況の真地久茂地線・開南大通の早期整備においては、再開発事業に先駆けて街路整備をすべきではとの考えで、伺う (1) 開南大通街路整備について、今までの取り組みと計画を聞きたい (2) 農連市場地区市街地再開発事業の進捗状況について (3) 樋川市営住宅及び樋川保育所改築に関して、農連市場の再開発と一体計画の可能性について NAHAぶんかテンプス事業にも期待をしながら、牧志壺屋線の延長線ともなる農連地区再開発地区(仮称)樋川線の街路整備についても伺う (1) 牧志壺屋線の進捗状況について (2) 牧志壺屋線全線の開通時期について (3) 農連市場地区の(仮称)樋川線街路整備について 市街地活性化の視点から、発言事項１・２に関連して、早期の整備の期待を込めて経済政策の観点からと、併せて、NAHAぶんかテンプス事業の果たす役割も聞きたい 【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	系 数 昌 洋 (公 明 党)	1 教育行政について 2 行政改革について	先日開催された「まなびピア沖縄２００３ in なは」は、全庁的な取り組みで実施され成功裏に終了したが、開催状況等について伺う (１) 今回の取り組み状況及び成果について、教育委員会の所感を伺う (２) 本市における生涯学習事業への今後の取り組みを伺う (３) 「まなびピア」開催の成果をもとに、本市も「生涯学習都市宣言」を行ったらどうか、当局の見解を伺う 行財政改革が喫緊の課題である。「民間にできることは民間へ」の方針のもと、本市も積極的に民間委託が推進されているが、 (１) 本市の民間委託の実施状況と成果について伺う (２) 今回の地方自治法改正により、株式会社まで含めた民間事業者に、公の施設の管理代行をさせることが可能となったが、当局の見解を伺う 本市として、今回の法改正をどのように認識しているか 本市として、どのような取り組みを考えているか

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 福祉行政について	(1) 明年4月より、児童手当の支給対象が小学校3年生まで拡大されるが、本市における対象児童数及び対象世帯数はどうなるか (2) 障害者支援費制度の利用増で、予算不足が懸念されている。本市における状況と明年以降の予算措置について伺う (3) 福祉行政全般における市民への対応について、言葉遣いや接し方を含めた職員研修や指導の強化の必要があると思われるが、当局の見解を伺う
		4 IT化推進について	本市は「あったかネット那覇 21 プラン」をもとに、IT社会に向けた取り組みを行っているが、行政内システムの一定の基盤整備が進む一方で、今後、地域の情報化に向けた取り組みが強く求められると思う (1) 「あったかネット那覇 21 プラン」の進捗状況と今後の課題を伺う (2) 「e - まちづくり事業」によるエージェントセンター実証実験の概要を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	高 里 良 樹 (自民クラブ)	1 環境行政について	子供たちの砂場の安全管理と、循環型社会の構築について 子供たちが安全快適に、かつ楽しく過ごせる環境を作することは、行政においても重要な課題の一つである。そこで、子供たちの遊び場という観点から、那覇市が管理する公園、幼小中学校の砂場、波の上ビーチの砂の衛生面、安全面について伺う (1) 那覇市の管理する幼小中学校及び公園、団地、波の上ビーチ等の砂場の環境調査を行ったことがあるのか あるのなら、どういう結果だったか (2) 直ちに砂場の異物を除去し、殺菌処理をする必要があると考えるが、当局の考えを伺う
		2 交通行政について	(1) モノレールの開通の最大の目的は、交通渋滞の緩和だと認識をしているが、現状は解決されたか伺う (2) モノレールの利用者を増やすために、当局はどのような努力をしてきたか (3) モノレール周辺に、交通アクセスのためのタクシー乗場の設置について、当局はどの程度まで進めているか (4) モノレール開通により、バスレーンの解除に向けて、どう取り組んでいるか
			【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	屋 良 栄 作 (市民の会)	1 図書行政について	教育委員会で不用になった書籍や雑誌などを市立病院に譲り渡し、患者とその家族が読書できるようにできないか、伺う
		2 水産行政について	お魚センター(仮称)をめぐる問題は、どうなっているのか、伺う また、那覇市として、どう関わるのか伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（１日目） 平成 15 年 12 月 10 日(水)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	大 浜 安 史 (公 明 党)	1 地上デジタル放送について	(1) 21 世紀の新しい情報通信放送として、12 月 1 日から三大都市圏（関東・中京・近畿）で試験的に地上デジタル放送が開始された 総務省によると、2006 年には国内全域に広げ、2011 年には地上アナログ放送は中止となる。今後、地上デジタル放送の放送エリアが国内全域に順次広がってくる デジタル放送によってのメリット・デメリットは何なのか、デジタル放送の対策は考えているのか、伺う (2) 現在、行政施設の対策は取られているのか伺う （本庁・支所・公民館・教育委員会・学校施設・消防庁舎・水道局・福祉施設・市民会館等） 市営住宅についての対策は、特に重要と思う。その対策についても伺う
		2 ごみ焼却炉建設と還元施設の計画について	(1) 県内では初めて、ごみ発電(容量 8000kW)が予定されている 発電による電力が、焼却炉とリサイクルプラザや還元施設も含めたごみ施設に利用されると、どの程度光熱費の軽減となるか。また、ごみ発電によって余剰電力の売電収入は、幾らになると試算しているのか。それに伴い、発電施設費用は何年でペイできるか。1 キロ当たりの売電予定単価は幾らになるか、伺う (2) 電力の自由化に伴い発電した電力は、一般家庭やテナントビル、公共施設等にも販売できるようにする ごみ発電での余剰電力を、その他の施設に売電してもよいのではと思う。どのように考えているのか伺う （例えば、パレットくもじ、とまりん、公共施設等）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 還元施設計画については、これからである。ごみ焼却による蒸気の利用で温水プールなどの市民の健康増進につながる健康施設等が考えられる ごみ焼却炉は平成 17 年に完成し、平成 18 年に供用開始される 還元施設も、市民への健康施設として利用できるよう、ごみ焼却炉と同時に供用開始できれば、市民にも南風原町民にも大変喜ばれると思う 還元施設の規模と計画内容、また、予算はどの程度予定しているのか伺う
		3 那覇市母子生活支援センター「さくら」について	首里鳥掘町内に、那覇市母子生活支援施設「さくら」が 8 月に開所した。地域の住民からも明るくなったと大変に喜ばれている 開所式に参加した際に、施設の事業内容やスタッフ紹介等があったが、充実した内容であった しかし、施設内を見ると、残念なことに広場には植栽がなく寂しい状況であった。部屋を見るとコンクリートの打ちっ放しの天井と壁であった。 母子寡婦福祉会に委託運営されているが、市としても、広場の植栽や部屋の天井や壁の改修も必要と思う。植栽や部屋の改修計画はないのか伺う
		4 県道 153 号線実施計画について	首里儀保交差点から、松川石嶺線と県道 153 号線の道路の拡幅が進められている 地域住民から、早めに整備してもらいたいとの多くの声や要望がある。県道 153 号線の実施計画と進捗状況はどうなっているのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 福祉地区について	首里石嶺町の福祉地区の整備については、住民に大変喜ばれている。現在は、石嶺北翔地区において事業計画が進められている。福祉地区の整備については順次進められると思う 石嶺小学校の通学路に一部歩道空間のない箇所がある。また、県立石嶺児童園横の道路も歩道空間がないため、危険な状況となっている。児童が安全に登下校できるよう、地域住民から歩道設置についての多くの声がある。歩道空間の設置が可能なのか伺う
		6 信号機の設置について	鳥堀町自治会館の前の押しボタン式信号機の設置については、6月定例会で取り上げた。答弁では、8月以降に設置される見通しであった。その後、信号機の設置はどうなったか伺う
			【答弁を求める者】 市長、関係部長